

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	◎	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染は収束するように見受けられる。
	◎	一般小売店〔和菓子〕 （企画担当）	・新型コロナウイルスは、全くゼロとはならないが、いずれは収束に向かっていくため、方向的には上向きであると思う。
	◎	百貨店（経理担当）	・ワクチン接種の進展に加えて、新内閣から打ち出される大型需要喚起策が奏功し、観光・外食・ホテル・航空・鉄道などの人流関連消費が大きく上向きと考えられる。
	◎	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言の解除により、人の動きが活発になる。
	◎	コンビニ（商品企画担当）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の全面解除に伴う新型コロナウイルスの感染再拡大は懸念されるものの、ワクチン接種完了の拡大に伴い経済活動が上昇傾向にあることから、景気回復を予測する。
	◎	乗用車販売店（従業員）	・全体的な流れとしては良くなる方向である。販売量も上向きと感じられ、全体の動きも良くなってきている印象を受ける。
	◎	その他専門店〔雑貨〕 （店長）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置も解除され、徐々に外出モードになってくると予想する。商業施設の集客力も改善すると思われる。
	◎	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いて、営業ができるようになると思う。
	◎	旅行代理店（経営者）	・9月一杯で緊急事態宣言も解除され、10～12月と消費が拡大することを期待して、景気は良くなると思う。
	○	商店街（代表者）	・コロナ禍においても、行動制限が緩和されることによって展示会が開催できるようになり、販売促進機会が増えると考えている。
	○	商店街（代表者）	・緊急事態宣言の解除で新規感染者数、死者数の増加は容易に予想されるが、解除となることで人流が増加し、飲食店を筆頭に物販もにぎわうことになると思われる。
	○	一般小売店〔結納品〕 （経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況により緊急事態宣言も解除され、多少は上向いてくると思う。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルス第6波次第だと思うが、正直よく分からない。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・緊急事態宣言の解除でボトムからの復旧が多少はある。
	○	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・現在よりも年度末に向けた予算消化が活発になる。
	○	百貨店（総務担当）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、徐々にではあるが客足が戻ってくることに期待したい。これから冬物、お歳暮、おせち、クリスマスや年末年始と百貨店にとっては最繁忙期であり、新内閣の経済対策にも期待しながら、積極的な対策を実施していき、売上に結び付けたい。
	○	百貨店（企画担当）	・まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出だけでなく、日々の新規感染者数の推移が来客数に反比例する傾向となっている。9月前半から中盤にかけては県内の新規感染者数が大幅に増加し、来客数の減少も顕著であったが、20日以降は徐々に新規感染者数が減るに従って来客数は増加に転じ、店舗売上も拡大しつつある。月末で緊急事態宣言が解除されて、前年のような冬場の感染拡大がなければ、消費は緩やかに上昇していくと思われる。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、若干ではあるが通常の生活に戻ると思われる。
	○	百貨店（営業担当）	・ワクチン接種率が上がってきており、緊急事態宣言が解除されれば客のマインドも変わり、実店舗に来店する客も増えてくると予想される。
	○	百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束してきており、少しずつ客の出足が回復してきている。
○	百貨店（計画担当）	・現状よりは新規感染者数の減少によって改善に向かうと思われるが、これまでの客の様子を見ると、完全に消費が戻るには時間が掛かると思われる。	
○	スーパー（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、徐々に回復するよう期待している。	

○	スーパー（経営者）	・緊急事態宣言の解除で、皆今後は売上が良くなると期待している。
○	スーパー（販売担当）	・来客数は平日より土日が多いが、緊急事態宣言が解除されるともっと平日も来客があると思うため良くなる。
○	スーパー（支店長）	・総理大臣も代わり、期待したいところである。緊急事態宣言も間もなく解かれ、消費者の自粛も若干は緩和されることで、購買意欲の上昇も期待できるのではと思われる。まだまだ新型コロナウイルスとの戦いは続くが、ウィズコロナをより一層意識して、日々努力していきたい。
○	スーパー（総務）	・ワクチン接種完了が11月を目標に進んでいることと、経済対策を国が打ち出したことで、景気はやや良くなると思う。
○	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念はあるが、生活必需品の需要は見込める。10月の値上げがどれだけ影響するかわだが、小売業者が価格対応をするので、それほどでもなさそうである。企業の工夫が左右しそうである。
○	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されるので、外出も増え、しばらくは購買意欲が高まるのではないかと期待している。
○	コンビニ（企画担当）	・新規感染者数の急激な減少と緊急事態宣言の解除により、人の動きが活発になることが予想される。ワクチン接種率が高くなることによる安心感もあり、駅を利用する人が増加する。
○	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進み新型コロナウイルスの重症者数が減り、人流が回復してくる。
○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が一時的に減り、行楽シーズンから年末に向けて、人の動きが活発化しそうである。一般通常客に加え、週末の行楽関連の客も増加しそうである。
○	コンビニ（店員）	・クリスマスに向けて、販売量・客単価が期待できる。
○	コンビニ（本部管理担当）	・10月に向け、緊急事態宣言の解除、政権政党の総裁選、衆議院選挙とイベントがめじろ押しで、世間の機運が上がると考えている。
○	衣料品専門店（売場担当）	・これまで規制されていた行動が徐々にではあるが緩和されることで、消費の拡大にもつながり、結果的に景気が上向きになると考えられる。
○	衣料品専門店（売場担当）	・リモートワークから職場への出勤のため、スーツの需要がかなり増えてくる。また、寒くなってクールビズからスーツ着用へ変わってくるため、期待したい。
○	家電量販店（営業担当）	・緊急事態宣言の解除により、経済には一時的に動きが出てくるのではないかなと思う。
○	乗用車販売店（営業担当）	・ワクチン接種が進んで国が行動制限を緩和し、経済活動を優先していけば、今よりは良くなると思う。
○	乗用車販売店（経営者）	・県をまたぐ移動や旅行などが増えてくると車両の活躍する場も増えてきて、相乗的に動きが活発になってくると思われる。
○	乗用車販売店（従業員）	・緊急事態宣言が解除され、客の店頭への積極的な誘致活動が行われ、店頭に活気が戻ることを期待したい。また、世界的な半導体不足により客の希望する車両の納期が遅れているマイナス要因があるものの、市場に活気が戻ることを期待したい。
○	乗用車販売店（営業担当）	・一気に新規感染者数が減り、ワクチン接種も進んできたなかで、客の雰囲気は良くなっているように見える。高級品が売れているという報道からも、自粛で自然にできた貯蓄を使われることを期待しているが、生産遅延は続いており商品の入荷が遅れたままなので、入荷状況次第である。
○	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いて客が投資をしたり、住宅についても、先が見える形になればリフォームや新築を前向きに考えていくという声が出ている。しばらく様子見という状況である。
○	その他専門店 [貴金属]（経営者）	・飲食店が再開することで人流が戻ってくれば、商店街の活性化が見込める。
○	高級レストラン（経営企画）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除で、まだ規制はあるものの、営業時間の延長や酒類提供停止要請の緩和により、来客数の増加が見込まれる。政府の政策を期待する一方で、年末年始の新規感染者数の再増加が心配であり、集客向上とともに従業員の確保なども懸念される。

○	一般レストラン（スタッフ）	・この9月が新型コロナウイルス関係の底だと思っており、以降は上向きが期待できると考えている。
○	一般レストラン（従業員）	・10月には緊急事態宣言が解除されて、営業時間の制限もなくアルコールも提供できるようになる。全ては10月からに期待したい。
○	バー（経営者）	・新型コロナウイルスの沈静化と総理大臣の交代により、景気はやや良くなる。
○	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ワクチン接種もほぼ行き渡りようになり、新型コロナウイルスの治療薬も承認されるようになれば、生活様式が変わっても、消費は落ち着いて伸びていく。
○	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・9月下旬になり緊急事態宣言の解除が話題になると、客との商談のペースも上がっている。
○	観光型ホテル（経営者）	・9月末で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除される可能性が高いが、そうなると今の最悪の状態を脱し、気候的にも良い時期になるため、来客数、宿泊者数が増えることが十分予想され、景気はやや良くなると思う。
○	都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気はやや良くなると判断した。
○	都市型ホテル（営業担当）	・緊急事態宣言が明けて、ビジネス出張や飲食需要が良くなってくると予想している。
○	都市型ホテル（総支配人）	・ワクチン接種の進展を受け、出張や大人数での会食を政府が解禁すれば、大手企業が動くので期待できる。また、Go Toキャンペーンの再開も好転材料であり、今後の政府の方針に期待する。一方、事業再構築などの補助金により製造業が先行して忙しくなってきたのを受けて、人件費、光熱費、その他費用の上昇が懸念材料である。
○	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスにおける緊急事態宣言解除による需要喚起が期待される。
○	旅行代理店（営業担当）	・新総理の観光業への支援施策を大いに期待する。団体旅行が早く復活する気配は感じられるので、第6波が来る前に大キャンペーンを打ってほしい。
○	旅行代理店（営業担当）	・需要喚起の施策等により、個人旅行の取扱は一時的に増えると思われる。団体旅行は、来春頃から検討するという客が多い。
○	タクシー運転手	・当県でも第5波による若い人の新規感染者数が拡大していたが、10～20代の人が個人医の前で長蛇の列を作っているのを最近よく見掛ける。当県も休日や夜間でもワクチン接種が受けられる会場を設けているため、見通しは少し明るくなっている。総裁選が終わると、イベント、旅行や飲食店の営業時短要請も少し緩和されるのではないかと期待している。
○	通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言が解除され、直接的な影響はないものの、心理的な効果で人が動き出し、社会全体が活発化してくると思う。
○	通信会社（サービス担当）	・今までの停滞が解消されれば、今よりもまた申込みが増えると思われる。
○	レジャーランド（職員）	・ワクチン接種の推進と第5波の収束により、来場者数は回復に向かうと予測するが、前年のGo Toキャンペーンの効果までには至らないと考えている。行動制限の緩和については、運営面、公平性などの観点から、詳細が明確になるまでは来場予測には織り込めない。
○	テーマパーク職員（総務担当）	・ワクチン接種率が向上してきている。
○	ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先の入場者予約数は順調である。レストラン売上は、コロナ禍により大きな期待はできないが、ゴルフ場の入場者数は、今後ある程度期待できると思う。
○	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・コロナ禍の政府対応が、段階的に制限を解除する方向に向いているようである。
○	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・自粛による経済活動の停滞から、ある程度は脱却できそうな雰囲気がある。
○	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・ワクチン接種が進み、世間でも実証実験などが始まるということで、経済活動も再び動き始めると期待したい。

<input type="radio"/>	住宅販売会社（従業員）	・ワクチン接種もかなり進展しており、10月からは家族客が外出する月になると考える。12月は、年末年始の連休には緊急事態宣言がまた出ると予想すると、客の動きも購入意欲も高い月になると予想する。例年は秋枯れの時期というが、現状維持以上になると予想する。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・新規感染者数がこのところ減少しており、客の動きも戻りつつあるが、個人の財布のひもは本当に固く、なかなか思うようには消費してくれない。しばらくその傾向が続くと考える。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・ワクチン接種の進展などで人出が戻ってくることを期待したいが、再度、新たな新型コロナウイルス変異株による新規感染者数の増加の可能性もあるので、景気がそれほど簡単に良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・自粛が定着してしまって動かないというのが最近の傾向である。1年前の方が、まだ大分良かった。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・気がよどんでいる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・前年12月から1度も店を開けられない店もあり、そのうちの何店かからは具体的に廃業を相談される。今後、第6波ともいわれており、閉店する店がどんどん増えてくると思われる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生花〕（経営者）	・緊急事態宣言は解除されても、この状況からなかなか抜け出せない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で企業活動は停滞して様子見をしており、イベントは中止又は中止に近い無観客での開催などで記念品などの購買が増えない。したがって、今の状態がそのまま続くと考える。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・今の時期に百貨店に来る客は、商品を見に来るのではなく行くところがないから散歩がてらに来る人が多いように思う。閉店間際に1人でふらっと来て、声掛けしても何も答えずただ商品を見て帰っていく人が多い。これから新型コロナウイルスの感染が収束したとしても、皆旅行の方に金がいってしまい、商品販売の売上は厳しい状況が続くと思う。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・結局、新規感染者数の増減で政府や自治体の通達が変わるだけで、それによって来客数が多少上下するのみである。ほかに景気が良くなる要因がなく、ブレイクスルー感染の増加でワクチンの効果も疑問視されており、当面この状況が続くと予測する。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・緊急事態宣言が明け、ワクチン接種が進めば希望は持てるが、好転する気配は薄い。新型コロナウイルスに左右される状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・7月後半以降は、余りにも悪い状況が続いている。回復の見通しに手応えがない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ワクチン接種が進めば、外に出るようになる。外食を含め少しずつ回復してくると思うが、輸入品の値上がりから家庭には影響が出る可能性がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・県内で毎日100名を超える新規感染者が出ており、減少しつつあるといっても第5波以前より感染者数が多い。完全に終息しない限り、2～3か月後には第6波が来て同じ状況が繰り返されると思う。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・緊急事態宣言が解除され、徐々に飲食店などの再開で仕入れによる売上が見込めるだろうが、まだ新型コロナウイルスの感染状況に振り回されるとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	・ワクチン接種の状況にもよるが、多少の上げ下げはあっても、しばらくは現状の消費傾向が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・ワクチン接種が進展しても、今の状況からは変わらないと思う。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で多少の増減はあるものの、低迷状態が続くと思う。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されても飲食店などに対する時短要請は続き、本格的な回復はまだもう少し先のようなのである。

<input type="checkbox"/>	コンビニ (店長)	・まず、来客数減少の状態は底を打った感がある。後は緊急事態宣言の解除によるプラスがある。マイナス面としては、たばこの駆け込み需要の反動で1～2か月は必ず販売減少になることと、新型コロナウイルス感染拡大の第6波の兆候が現れた場合の再自粛である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (商品開発担当)	・新型コロナウイルスの影響が見通せない。また、大手自動車メーカー関連への半導体不足による影響も不安要素として残る。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (店長)	・収入が減り、余分な物は極力買わない購買行動になってきている。ワクチン接種の進行によって経済活動が回復していくと思われるが、すぐに大きな変化があるとは思えない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (店員)	・原料費の高騰で製品価格が上がりそうだ。今後もさえない状況が続くだろう。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (フランチャイズ経営者)	・新型コロナウイルス対策の自粛により、高齢者の来店が少なく感じる。引き籠りというニューノーマルに、皆が慣れてしまっているのかもしれない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (経営者)	・しばらくこの状況は続くと思込まれる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、自動車販売については来店客も多く、やや好調を維持できると思われる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (経営者)	・このところの新規感染者数の減少や緊急事態宣言の解除が決まったことを考えると期待感はあるが、2～3か月でどうこういえるほどの変化は出ないであろう。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	・新車の納期は3か月以上でメーカーからも明確な納期回答が得られないため、ここ数か月は良い状況になるとはいえず、販売の方は現状維持が精一杯と思える。新車の納期に時間が掛かるので中古車の引き合いは多いが、オークション相場が高騰しており仕入れもままならない状況で、成約数も下がり始めている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [書籍] (店員)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、今まで我慢していた分がレジャー等に流れることも危惧されるため、書店としては厳しいと思う。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (経理担当)	・緊急事態宣言下では、売上高は前年比マイナス7.4%、前々年比マイナス16.7%である。来客数は前年比マイナス6.4%、前々年比マイナス23.0%である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	・10月以降は緊急事態宣言が解除となるが、すぐには好転しないと思う。現状を維持し、知恵を出して乗り切っていきたい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	・緊急事態宣言は9月末で解除となると思うが、その後もまだ新型コロナウイルスに対する不安等があり、外食への支出は少ないと思う。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルスの終息は無理だろうが、いずれいろいろな感染防止対策が解除されれば、少しずつ客が出てくると思う。ただ、一遍には無理なので、徐々に待つしかない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (従業員)	・外食業は皆警戒している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (支配人)	・たとえワクチンの接種率が上がったとしても、恐らく緊急事態宣言が解除された後には前回のように県独自で何らかの要請等が発出されると思われる。年末年始の忘・新年会という表現も使えず、それに換わる表現を使って商品造成をしていかないと、このままでは会社自体の存続が危ぶまれてしまう。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (経営者)	・緊急事態宣言の解除次第である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	・緊急事態宣言が全面解除される見通しのなかで、11月には、また新規感染者数が増えて緊急事態宣言が出るのではというニュース報道もあり、不安が一杯である。現在は、秋の紅葉シーズン、冬の味覚や年末年始と国内旅行限定の販売なので、是非、一部の限定国の海外旅行では帰国後の隔離措置を緩和してほしい。緩和されない限り今と変わらないと思う。

□	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、様々な分野の生活スタイルが変化し始めている。モノの所有よりもコト消費、なかでもゆとりを重視する生活様式が普及していく表れとして、高級腕時計にみられる消費の2極化やメリハリのある消費行動が、ますます進んでいくと考えられる。
□	旅行代理店（経営者）	・希望的には上向いてほしいが、どのタイミングで上向くのか分からない。
□	タクシー運転手	・緊急事態宣言の解除でどうなるか分からない。
□	通信会社（営業担当）	・小規模事業者の客を訪問しているが、以前より雰囲気が悪く商談に結び付かない。しばらくはこの状況が続くと思う。
□	観光名所（案内係）	・内閣の交代や天候不順はあるが、新型コロナウイルス感染症は少し先が見えてきたと思うため、新内閣のこれからの出方次第である。
□	美容室（経営者）	・全体的にイベントや外食などへの規制がなくなる限り、もう少し今の状態が続く。
□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が大分収束してきているが、完全に終息するまで来客数は余り変わらないと思う。
□	美容室（経営者）	・どんな職種でも新型コロナウイルスの影響で来客数が減っているため、景気は変わらないと思う。
□	設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスがこのような感染状況のため、景気はそれほど変わらないと思う。
□	住宅販売会社（従業員）	・当分横ばい状態が続くと思われる。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・引き続き住宅の新築工事、リフォーム工事や工場の改装工事などを受注している。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・緊急事態宣言が明けてどこまで回復できるか未知数である。また、閑散期も重なるので期待薄である。
▲	スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの感染状況は、また悪くなることを繰り返すと思う。秋の行楽から年末年始の帰省などで必ず第6波が来ることが予想される。
▲	スーパー（商品開発担当）	・緊急事態宣言が解除されると、やや外食需要は上がり、内食傾向が緩まる可能性が考えられる。そのため、内食・中食がメイン販売の業態は、売上でやや苦戦すると考える。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しても、年配客は健康状態が段々と悪くなり外出の機会がますます少なくなるため、来店は減ると思う。
▲	乗用車販売店（従業員）	・車の販売台数が減少している上に車の生産も滞っており、ただでさえ遅い納期が更に遅くなっている。納期の遅延が、車両販売にも影響している。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・半導体不足の影響がかなり出てきている。部品が入ってこない、車の生産が遅れている、半導体を使用した部品のオプションがなくなっているなど、かなりいろいろ影響が出てきている。
▲	旅行代理店（従業員）	・販売量の減少が予想される。
▲	通信会社（営業担当）	・現状の納期遅れが続くと考える。
▲	テーマパーク（職員）	・第6波が来なければいいが、見通しが立たない。
▲	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍により客の動きが減少したまま固定されている。
▲	理美容室（経営者）	・客との話では、段々と物価が上がるが給料は上がらないとのことなので、景気は悪くなっていくと思う。
▲	美顔美容室（経営者）	・8～9月で大体の客がキャンペーン商品を購入済みのため、景気はやや悪くなる。
▲	設計事務所（経営者）	・現時点での種まき案件がほとんどない。
▲	住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックが尾を引いているようで、木材の卸売業は値を下げない。
▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・客とリモートで打合せをするが、まだまだ環境が整っていないため、ほんの一部の客である。総理大臣も代わり、デジタル庁に世の中のデジタル化を期待している。経済はまだまだ厳しい。
×	乗用車販売店（従業員）	・今製造業は本当にモノが作れなくなっており、そのモノを売る我々も、生産が間に合わないで売れない。かなり大きな不況がくるのではないかと非常に心配している。
×	理容室（経営者）	・これからもまだまだ新型コロナウイルスは危険であり、世界を騒がせる。

企業 動向 関連 (東海)	◎	化学工業（総務秘書）	・緊急事態宣言が解除されるため、鬱積した不満を解消する消費や、それによる景気の高揚を感じられると思う。新規感染者数はまた増えるかもしれないが、飲食店での飲酒規制をしなければ、景気への影響は小さい。
	○	食料品製造業（経営企画担当）	・緊急事態宣言の解除から、消費の盛り上がり期待したい。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が大分進み、新規感染者数も全国的に減少傾向にあり、特に11～12月は農産物や青果物等の特需が見込まれるため、現状より景気はやや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（総務担当）	・衆議院選挙後の新内閣での新たな景気対策に期待したい。
	○	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・緊急事態宣言の解除による飲食店の規制緩和で、良くなると期待したい。
	○	輸送業（従業員）	・荷主は、新型コロナウイルスにより落ち込んだ分を回復すべく、期待を込めて荷量の回復を掲げている。我々もそこに期待して、対応したい。
	○	輸送業（従業員）	・緊急事態宣言の解除、政権政党の総交代や衆議院選挙の直前ともなり、様々な緊急経済対策が行われると見込む。
	○	通信業（総務担当）	・9月30日で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除され、人流が増える。
	○	金融業（従業員）	・緊急事態宣言の解除の決定、またワクチン接種が進んでいることにより、景気は回復するのではないかと考える。
	○	不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していくと思われ、外出する人が徐々に増加すると予想している。売上は徐々に回復していき、前年を上回ると思われる。
	○	新聞販売店〔広告〕（店主）	・緊急事態宣言の解除が大前提だが、解除されれば折込広告が増えると思込む。9月中旬くらいから、旅行関係のチラシも徐々に入るようになってきた。
	○	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新型コロナウイルスにより中止となっていたイベントも、来月より再開される見通しで、需要が予想される。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・先々はまだ不透明であるが、後で気が付いてからでは遅いので全て前向きに対処したい。そのためにも開発を進めさせる。ただし、海外からの激震が来るような気がしている。
	□	化学工業（営業担当）	・引き続き半導体向け電材薬液の需要が好調である。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	・受注数に対応しきれない製品があり、まだしばらくは現在の好調さが続きそうである。
	□	金属製品製造業（経営者）	・引き合いも低調で、引き続き販売量が低い状況で推移すると考える。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みは変わらない。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	・円高でないことが救いだが、設備自体の納期も原材料不足や輸送網が機能しないことにより長くなっており、改善する要素がない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・直近での改善は見込まれない。
	□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・来月も同様に、1か月の3分の2くらいが休みである。
□	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・自動車の完成車メーカーが東南アジアのコロナ禍で部品調達をできない影響が当面続くと考え。悪いまましばらく推移と思う。	
□	建設業（経営者）	・新総裁が誰になるかで大分変わってくると思われるため、まだ分からない。	
□	輸送業（経営者）	・消費増加につながるような話題は、各業種の客からは聞こえてこない。	
□	輸送業（エリア担当）	・発着荷物の量は前年より増えた状態を維持している。店舗向けの納品は、新型コロナウイルス次第で大幅回復になるかもしれない。	
□	輸送業（エリア担当）	・12月は1年で一番荷物が動く時期であるが、上半期末の荷物量にはさほど目立った動きがないことを考えると、新型コロナウイルスの影響も当然あるが、年末も荷物量は増えず、景気は回復してこない。景況感は盛り上がってこないと思される。	
□	輸送業（エリア担当）	・既にピークに達しており、新型コロナウイルスの感染状況も変わらないと判断する。	

	□	金融業（従業員）	・これからどのように景気が動いていくのか、皆余り方向性がみえていない状況である。東京オリンピックが終わり、また、選挙が終わる時期となり、生産という意味でいくと良くもないが悪くもなく、どちらの方向に動いていくのか見当が付かないというイメージの人が多い。
	□	金融業（企画担当）	・緊急事態宣言の解除も展望されており、コロナ禍ではあるが人々の行動の変化も予想される。実際に感染防止をして食事をする人も増えてきており、雰囲気は変わりつつあるものの、景気回復にはもう少し時間が必要とみられる。
	□	不動産業（開発担当）	・新型コロナウイルスの影響が全ては露呈していない経済状態と感じているので、政府の施策次第で上にも下にもいく状況に感じている。
	□	広告代理店（制作担当）	・特に若者のワクチン接種が遅れているため、年末のイベント等の企画も足踏み状態になっている。
	□	行政書士	・現状維持である。
	□	会計事務所（職員）	・緊急事態宣言が解除となることで飲食店は持ち直すだろうが、大手自動車メーカー関連の製造業は、後1～2か月は売上が半減する見込みである。双方を勘案して変わらないとした。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・度重なる緊急事態宣言発出の影響が大きく、受注量の減少が収まらない。コロナ禍が完全に収束しないと何度目の解除後も新規感染者数の増加から緊急事態宣言発出の繰り返しである。コロナ禍が完全に収束するまでは、各業態、取引先も安定的にはならないため、景気の回復は見込めない。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・受注環境が良くないなかで、原材料の価格高騰が収益にまともに響いてくる時期になる。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・素材、鋼材が4～5割アップの状況になり、10月から値上げを実施したため、現状価格でも厳しいなか、この値上がり分を単価に反映できない。受注の減少につながると思われる。
	▲	建設業（役員）	・大手自動車メーカーの減産に伴う1次・2次下請会社への影響があるのではないかと。特にこの地域では影響が大きい。
	▲	通信業（法人営業担当）	・コロナ禍で、人の習慣だけでなく商習慣までが変わってきている。経済活動を新たに構築するには、時間が必要と感じる。
	▲	通信業（法人営業担当）	・株価のような状況とはとても思えない。緊急事態宣言は解除とはいえ、新型コロナウイルスの感染は収束とは言い難い。景気回復は誰もが望むことだが、どうしたら生き残れるのかを全業種で働く人たち全員で真剣に考えていかなければ、思いの外、コロナ禍は深い傷となっている。コロナ禍を乗り越えるには、いまだ道半ばというより、道に入ったばかりかもしれない。
	▲	不動産業（経営者）	・先行きが見通せないなかで、様子見のまま足踏み状態になりそうである。
	▲	会計事務所（職員）	・緊急事態宣言は9月末で解除となるが、コロナ禍で国内の景気の停滞が長引き、世界各国と比較して経済復興が遅れているため、相次ぐ原材料などの値上がりに対応できず、企業は自然と薄利となり、しばらく不景気から脱出できないと予想される。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今時点でも新型コロナウイルスの感染が収束していない状況である。いつ収束するか分からない状況のなかで景気が上向きになるわけがない。今後はもっと景気が冷え込んでいくのではないかと考える。
	×	鉄鋼業（経営者）	・製鋼メーカーの一時的な値上げは、大手客向けとの間で大きな価格差があり、不適切な価格設定なのではないかと。関係機関にも取り上げてもらいたい。
	×	公認会計士	・普通に考えて、コロナ禍で経済が止まっている状況で、これが改善するためには相当の時間を要すると思われる。中小企業の低生産性、後継者難、大企業の優越的な地位による利益搾取等は、短期的には改善しない。
雇用 関連 (東海)	◎	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除となる。
	○	人材派遣会社（企画統括）	・ワクチン接種が進むなか、緊急事態宣言の解除が見込まれる状況となり、景気回復の兆しが感じられる。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・年始から年度初めに向けて、人材採用を見込む企業が増えてくると考える。

○	人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言の解除後に向けて、10月以降の求人数が増加している。
○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ワクチン接種の効果か、新型コロナウイルスの感染状況は改善されている。10月からの緊急事態宣言の解除もあり、少し前向きな状況になるのではないかと考える。
○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていけば、現状よりは良くなると思いたい。
○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が9月末で解除される見込みであることや、ワクチン接種が進み、以前よりも経済活動が活発化するのではと思われる。
○	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の解除により、経済活動が活発化することが期待できる。
○	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言も明けて経済活動が上向きになれば、景気向上につながる。
□	人材派遣業（営業担当）	・10月以降、緊急事態宣言が解除されるとリバウンドを心配する企業も多く、早期回復へは至らないと感じる。
□	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が解除されても、しばらくは良くならない。
□	人材派遣会社（営業担当）	・総裁選や衆議院選挙の結果により先行き不透明である。
□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染は収束傾向にあるが、自動車関連業種においては、海外からの部品調達の遅れや半導体不足により生産調整が行われ、完全な回復にはいまだ遠い状況である。
□	職業安定所（所長）	・部品の供給不足による大手企業の製造ライン一時停止や減産の影響により、協力企業や何らかの関連を持つ企業の事業運営、雇用への影響が懸念され、厳しい状況はしばらく続くと考ええる。
□	職業安定所（次長）	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、基幹産業である製造業を始めほとんどの産業で増加しているものの、先行きの不透明感は一層強まり、宿泊業、飲食サービス業は減少に転じており、先行きは厳しい状況である。今後、緊急事態宣言の解除に期待をする声はあるが、引き続き新型コロナウイルス変異株の感染拡大を注視していく必要がある。
□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・コロナ禍の影響より、ワクチン接種の進展によって社会活動が活発化しても、第6波への懸念などから大きく改善される見通しがつきにくい。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・ボーナス支給後の転職や4月以降の転職を目指して、活動を開始する人が増加する見込みである。
□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年までは既卒者の離職組へのキャリア支援として紹介していた中途採用募集を行う事業者のなかで、採用計画が4月採用のみに変更となった例が数件発生している。企業における充足度や採用抑制傾向の表れではと懸念している。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・派遣の引き合いが増えていたのは半期の切り替わりの時期だからと予想され、同じペースで2～3か月後も引き合いがある可能性は低いと考える。
▲	職業安定所（職員）	・半導体等の供給不足による影響により、自動車製造業や関連機械製造業においては一定期間求人の申込みが減少することが予想される。一方、ワクチン接種の効果や緊急事態宣言による人流減少で新規感染者数の減少が進んでいけば、経済活動の再開により、徐々にではあるが景気が回復していく可能性もある。
×	—	—